

## 中高年の「アベノミクス」に対する意識調査

43.7%が、今後に対する不安感が「大きくなった」と回答。  
政府に期待することは、物価上昇率に見合った「所得アップ」。

日経平均株価がリーマンショック前の水準に回復するなど、アベノミクスによって激動がもたらされている日本経済。このような経済の動きによって早くも恩恵を受けている業界・個人がある一方、まだまだ景気回復の実感がない人も多いという。特に定年を控える、もしくはすでに年金生活を送る中高年は、この経済の動きをどのように捉えているのだろうか。

今回、オウチーノ編集部(株式会社オウチーノ/本社:東京都港区/代表:井端純一)は、50～79歳の男女775名に「アベノミクス」に関するアンケート調査を行った。結果、43.7%が、アベノミクスによって今後の生活に対する不安が「大きくなった」と回答した。また、その不安のタネとして最も多く挙げられたのが、「物価上昇」だった。

### ■調査概要

**有効回答** 50～79歳の男女775名

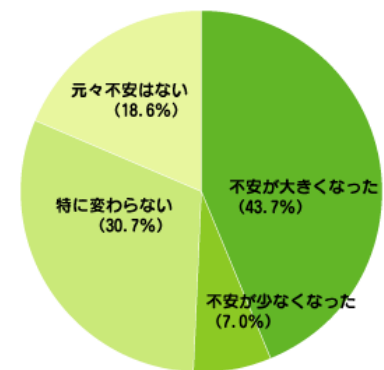
**調査方法** インターネットによるアンケート調査

**調査期間** 2013年4月26日(金)～4月27日(土)

### 1. 43.7%が、今後に対する不安が「大きくなった」。不安のタネは「物価上昇」。

はじめに、「アベノミクスによって、今後の生活に対する不安感に変化はあったか」と質問した。結果、「不安が大きくなった」と答えた人が43.7%、「不安が少なくなった」と答えた人が7.0%、「特に変わらない」が30.7%、「元々不安はない」が18.6%と、「不安が大きくなった」と答えた人が最も多かった。その理由として特に多かったのが、「物価上昇」への不安。具体的には、「物価の上昇で、毎月赤字の生活です。(58歳/山形県)」「現在働いており収入もそれなりにあるが、年金のみになった時に消費税増・物価高騰を考えると不安。(65歳/島根県)」「年金は増える見込みがないのに物価は上がる。どうやりくりすればいいのか。(77歳/東京都)」などの声が挙がった。

アベノミクスによって、今後の生活に対する不安感に変化はありましたか？



### 2. 政府に期待したいことは「所得アップ」。物価上昇率に見合った給与・年金アップを。

続いて、中高年層が今後、政府に期待したいことは何か聞いてみたところ、1位「給与アップ」、2位「年金アップ」と、

「所得アップ」を望む声が多かった。特に、今後物価上昇が予測されるなかで、「給与と年金の上昇が、インフレの進行に見合うようにしてもらいたい。(54歳／神奈川県)」といった声が多く挙がった。第3位は「税負担の縮小」、4位が「低所得者救済・格差是正」、5位が「物価抑制」だった。

「税負担の縮小」においては「日用品には、非課税をお願いしたい。(60歳／東京都)」と生活必需品への軽減税率の適用を求める声も多く挙がった。「低所得者救済・格差是正」は、具体的には「格差をおさえて貧乏人も何とか暮らしていけるようにしてほしい。(73歳／大阪府)」などの意見が聞かれた。「物価抑制」に関しては、「食品等、日常生活に必ず必要な物は値上がりしないような政策をお願いしたい。(65歳／秋田県)」など、特に食品、日用品の物価抑制を求める声が多かった。

基本的に、高所得者と比べて低所得者のエンゲル係数は高い傾向にある。それゆえ、食品の値上がりによって受ける打撃は大きい。その他の生活必需品に関しても同様のことが言えるだろう。

消費者が物価上昇を肌で感じている一方、所得上昇に関しては兆しが見えない現在において、今後への不安感が募るのもうなずける。しかし今の中高年がかつて経験してきた高度経済成長やバブル景気では、物価同様、給与も上昇し、人々の生活は変化していった。安倍首相はアベノミクスリスクとして、物価上昇と所得上昇にタイムラグが発生する可能性が高いと指摘する(※1)が、今回の調査では、中高年の慎重な姿勢が伺えた。

※1: Reuters.co.jp 「アベノミクス、賃金より先に物価が上がる可能性が高い＝安倍首相」

<http://jp.reuters.com/article/topNews/idJPTYE94601Z20130507> (アクセス: 2013年05月13日)

詳しくはコチラ<[http://shinchiku-mansion.o-uccino.jp/special/sp\\_column32/](http://shinchiku-mansion.o-uccino.jp/special/sp_column32/)>